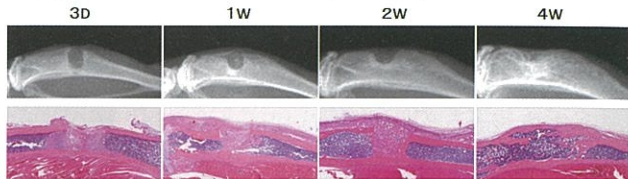




## 「臨床生命科学科で恐竜研究?」

理学部 臨床生命科学科 教授 辻極 秀次

私の専門は硬組織(骨・軟骨・歯)、もちろん生きた生物が対象です。しかし現在は恐竜化石を対象とした研究も行っていきます。石となった化石ですが薄片にすると組織が見えてきます。化石を生物として組織学的に解析することにより、恐竜の生きていた環境、生態、生理などが解明できないか色々なアプローチを試みています。例えば病変の痕跡が残る骨化石の解析から、他殺なのか病気なのか、傷ついてどれくらいで死んだのか、恐竜の死因が特定できるかもしれません、恐竜の法医学といったところでしょうか。今後は恐竜化石に残された情報から、難解なパズルを紐解いていきたいと考えています。



マウスの骨折治癒過程、現生生物の骨組織と化石との比較から、恐竜の生態や生理を解明する。